

1. WBS/アクティビティ/タスクの目的と機能の説明

✓ 【310】 現状のレベル4プロセスの調査・記述・・・位置付け(既に理解された場合は読み飛ばし可)

WBS 【310】 現状のレベル4プロセスの調査・記述は、フェーズⅢのWBSの一つです。⇒フェーズⅢの概要
そして、レベル4プロセス分析・設計の一部のWBSです。

フェーズⅢでのレベル4プロセス分析・設計のステップ⇒M300-007①N

当該WBSの位置付け

フェーズⅢでのレベル4プロセス分析・設計の成果物⇒M300-007②N

業務プロセスは階層化しており、プロセス階層レベルによって、プロセス図の種類と目的が異なります。

プロセス階層レベルの例⇒C60-01-41N

プロセスフロー (図) ⇒種類と使い分け

WBS 【310】 「現状のレベル4プロセスの調査・記述」主要アクティビティ⇒M310-002N

当該アクティビティの位置付け

当アプリは、この中のアクティビティ 【310-20】 「業務担当者へのインタビュー (プロセス図)」に該当します。

1. プロセス記述対象が含まれるレベル2プロセス、またはレベル3プロセスを選定

2. これに関するレベル2プロセス、またはレベル3のフローを業務参照モデルから選定

3. このプロセスフローを参照しながら、現状を記述

・レベル2を選定した場合は、それに含まれるレベ3プロセスを

当該アクティビティ概要

・レベル3を選定した場合は、それに含まれるレベ4プロセスを

当該タスクの位置付け (タスクがない場合は不要)

2. インプット

・調査・記述すべき現状プロセス

・【310-10】において既存ドキュメントから事前調査できた場合、そのプロセス図【310-101】

レベル2プロセス、またはレベル3プロセス名称

インプットの指定

3.利用する技法・ツール・事例等

上記で選定したプロセス参照モデルのプロセス図を参照しながら、現状のプロセス図を記述します。

プロセスフローの調査・記述の技法⇒M561AN

プロセスフローの調査・記述 (例) ⇒M310-201N

レベル4プロセス図(最終的な例) ⇒M310-202N

当該アクティビティ/タスクで
使用する技法・ツール・事例等

4. アウトプットの作成

プロセス参照モデルのプロセス図を参照しながら、現状プロセス図を記述します。

アウトプット⇒【310-201】レベル4プロセス図<現状>

アウトプットの指定

4. アウトプットのレビュー

最後に、作成したアウトプットをレビューします。

レビューで使用する技法

プロセス図の記述のレビューポイント (プロセスフロー) ⇒M900-561RN